

《資料》

貿易商社の発生史的研究

——明治・大正期の高島屋飯田を中心として——

武 居 奈 緒 子

目 次

- I. 開 題
- II. 飯田新七東店の経営について
- III. 資 料

I. 開 題

貿易商社は、日本企業において最初に海外で事業基地を建設し、国際経営を経験したという意味において、我が国最初の多国籍企業として位置づけることが出来る。

ところで、我が国の貿易商社の歴史的研究は、従来から行われてきたのであるが、それらは、日本の経済発展に対する貢献、大きな役割を果たしたことを説明している。それらの海外現地経営、海外支店の経営について焦点を当てたものは非常に少ない⁽¹⁾。日本企業の多国籍化のプロセスにおける海外現地経営についての本格的な研究は、むしろ貿易商社を題材としたものよりも、桑原哲也氏の研究にみられるように、製造企業を中心として行われてきたように考えられる⁽²⁾。

本研究では、こうした従来の貿易商社研究に対する一定の貢献を行おうとするものである。すなわち、日本の最初の多国籍企業として貿易商社を捉え、その海外現地経営の実態を明らかにしようとする。そして、多国籍企業としての成長プロセスにおける海外支店現地子会社の役割、現地における組織能力を本社の経営戦略と組織の観点から捉えようとする。この点については、G.Jones⁽³⁾が、貿易商社の海外現地経営を捉えている。

ところで、我が国において、貿易商社の担い手として、当初は居留地の外国人商社が主たる役割を果たしたが、1880年代より日本の商社が外国貿易に本格的に乗り出した。高島屋飯田も

(1) 川辺信雄『総合商社の研究—戦前三菱商事の在米活動—』実教出版、昭和57年があるが、それも狙いは、日本の工業化に対する総合商社の貢献に焦点が置かれている。

(2) 桑原哲也「在華紡の組織能力—両大戦間期の内外綿会社—」『龍谷大学経営学論集』第44巻第1号、平成16年.; 桑原哲也『企業国際化の史的分析—戦前期日本紡績企業の中国投資—』平成2年、森山書店。

(3) G.Jones, "Merchants to Multinationals in the Nineteenth and Twentieth Centuries" Oxford University Press, 2000.

明治期の比較的早くから海外にビジネス・チャンスがあることを察知し、海外進出へ乗り出している。貿易商社の中でも、高島屋飯田を取り上げて、その形成と発展過程を中心にして、マネジメント史観⁽⁴⁾で明らかにするというのが、大きな課題である。

高島屋史料館には、高島屋について明治期から昭和初期にかけての資料が、高島屋史料館倉庫内の一角に保存・保管されている。これらは、日本の貿易商社の形成・発展過程を把握する上で、極めて貴重な資料であると思われる。それらは、明治22(1909)年、飯田新七の欧州渡航記録を始めとして、決算報告書関係でいうと、表1のように整理できる。これらの資料から、時系的に利益、販売量、仕入先、販売先、取扱商品を把握することが可能となる。⁽⁵⁾さらに、貿易部が手がけたといわれる博覧会の資料、当時の国策と関連する工場関係の資料、高島屋飯田合名会社・飯田同族会議決録及附属材料書類、高島屋飯田合名会社定款、高島屋飯田株式会社定款、株式会社高島屋呉服店定款、その他、各種契約書、覚書、手紙等も多数残されていて、総計、数千点にわたる。これらの資料は、整理番号も付与されていない未整理の資料である。

既述の大きな研究目的に接近するために、今回は、貿易店である飯田新七東店の経営状況について、現存の資料を紹介することとしよう。

II. 飯田新七東店の経営について

高島屋が、貿易業務を行う機関として重要な役割を担ったのが、飯田新七東店⁽⁶⁾である。それに先だって、明治20(1887)年11月22日に京都店北店2階へ輸出部を設け、貿易部門への進出を果たした。明治26(1893)年に京都東店落成によって、貿易店は独立した。店長は、飯田新七の弟、飯田藤二郎が就任した。当時は、生糸を始め絹織物は、国の重要な輸出産品であったので、こうした国策に同調するものであったと思われる。最初の進出地として選ばれたのが、リヨンである。明治30(1897)年、飯田新七東店副店長の飯田太三郎が、リヨンでG. Combefort and Co.⁽⁷⁾と代理店契約を締結し、リヨン市場進出の足がかりとした。日本から羽二重を輸出するために、飯田新七東店店内に仏国係を設置して、竹田量之助がその主任となって、専ら羽二重の積み出しを行った。羽二重は福井産で、1カ月積み出しは、12函で、一函最多で200疋梱包が可能であった。同地での競争相手として、石井商店があった。明治31(1898)年、積み出し業務に太田有二が加わった。明治32(1899)年になると、竹田量之助がリヨン在勤を

(4) 井上忠勝『アメリカ経営史』神戸大学経済経営研究所、昭和36年。；井上忠勝『アメリカ企業経営史』神戸大学経済経営研究所、昭和62年を参照。

(5) ただし、全項目が必ずしも揃っているとは、限らない。

(6) 飯田新七東店に関しては、「東店棚卸報告表」各年版、『高島屋営業史補遺資料』に基づく。飯田新七東店は、明治39年上半期から飯田新七飯田貿易店、明治42年上半期から高島屋飯田合名会社飯田貿易店、大正5年下半期から高島屋飯田株式会社京都貿易店と改称しているが、以下では、飯田新七東店で統一して記述する。

(7) このG. Combefort and Co. は、明治34年には、欧州大陸一円の代理店となる。

命ぜられる。これが、海外駐在員の始めといわれている。そこで、15 Rue du Gared にリヨン出張所を開設する。折しも、世界的恐慌によって、羽二重の相場も下落して、競争相手の石井商店も閉店するに至った時であった。表2をみても明らかなように、飯田新七東店も、第26期には欠損をだしているが、翌期には、回復している。

なお、これらの輸出業務に携わった4氏は、後の高島屋の貿易事業の発展に多大な役割を果たす。⁽⁸⁾大正5(1916)年、高島屋飯田株式会社が分離・独立した際に、飯田新七東店店長経験者の飯田藤二郎は、専務取締役役に、飯田太三郎は、常務取締役役に就任する。竹田量之助は、大正5(1916)年高島屋飯田株式会社設立にあたって、取締役兼ロンドン出張所輸出入一般の支配人に任命され、大正9(1920)年理事、昭和5(1930)年常務取締役、昭和7(1932)年監査役に就任する。太田有二是、高島屋飯田株式会社が分離独立した後に、東京本店本部取締役を務め、大正9(1920)年横浜支店支配人兼参事、大正11(1922)年ロンドン出張所支配人、大正15(1926)年取締役を歴任する。

当時、飯田新七東店店員の中からその後、重要な役割を果たした人として、以下の人物を挙げることができる(表6参照)。飯田新太郎は、株式会社改組の時、監査役に就任する。後藤忠二郎は、株式会社高島屋飯田が、分離・独立した時に、取締役兼横濱支店支配人兼京都支店支配人を、昭和5年に住江織物株式会社の監査役に就任し、同年10月高島屋飯田株式会社の常務取締役となる。喜多村三木造は大正9(1920)年にロンドン店支配人兼参事、昭和2(1927)年大阪支店支配人、昭和4(1929)年理事、同年11月東京本店支配人、その後高島屋飯田株式会社取締役に就任する。野垣収三は、昭和4(1929)年神戸支店支配人に就任している。これらの人物は、その後の貿易商社の発展を支えることになる。

飯田新七東店の主要業務は、国内の仕入先から呉服関連商品を仕入れて、直輸出、国内の系列店舗(東京店、横浜店、大坂店、京都呉服店)、国内外の卸売業者・小売業者・一般消費者へ販売することである。つまり、飯田新七東店は、商社的な機能を果たしていて、海外との取引でいえば、輸出機関⁽⁹⁾として機能している。これは、飯田新七東店の大きな特徴である。

さらに、飯田新七東店の経営の特徴として、博覧会事業を手がけたという点もあげられる。博覧会は、出品・展示ばかりでなく販売機関としても機能していて、当時の世界的名優といわれたマダム・サラ・ベルナールが購入したことが話題となったこと⁽¹⁰⁾、博覧会での入賞は、高島屋のブランド・ロイヤルティー確立に多大なる貢献を果たしていることは、言うまでもない。

なお、業務拡張に伴い、明治33(1900)年に京都高島屋飯田新七横浜貿易店を横浜市弁天四

(8) その後の活躍については、太田有二『貳拾周年記念高島屋飯田株式会社』高島屋飯田株式会社、昭和11年による。

(9) 高島屋の貿易事業は、当初は、輸出機関として開始されたが、明治38年、丸之内店の設置によって、輸入業務も開始される。

(10) 高島屋150年史編纂委員会『おかげにて高島屋の百五十年』株式会社高島屋本社、昭和55年。

丁目六拾番地に開設した。この店舗が、それ以降、羽二重の輸出拠点として重要な役割を果たした。このことを反映して、飯田新七東店のリヨン送羽二重輸出高は、明治31（1898）年下半期112652.210円、明治32（1899）年上半期7189.640円、明治32（1899）年下半期243337.890円であったのが、明治33年（1900）上半期81368.400円に下落している。

Ⅲ. 資 料

以下では、飯田新七東店に関する資料を掲載する。

表1 決算報告書関係資料の高島屋史料館所蔵状況

	飯田新七飯田呉服店本店	飯田新七大阪呉服店	飯田新七飯田東店	京都高島屋飯田新七 横濱貿易店	飯田新七横濱店卸小売部	飯田新七東京店	京都高島屋飯田新七 飯田出張店所	飯田同族会前身	高島屋飯田元締	高島屋飯田合名会社	京都飯田新七横濱店 里昂出張所	高島屋飯田合名会社 倫敦出張所	義大洋行(清国出張店)
明治32年上半年期													
明治32年下半年期													
明治33年上半年期													
明治33年下半年期													
明治34年上半年期													
明治34年下半年期													
明治35年上半年期													
明治35年下半年期													
明治36年上半年期													
明治36年下半年期													
明治37年上半年期													
明治37年下半年期													
明治38年上半年期													
明治38年下半年期													
明治39年上半年期													
明治39年下半年期													
明治40年上半年期													
明治40年下半年期													
明治41年上半年期													
明治41年下半年期													
明治42年上半年期													
明治42年下半年期													
明治43年上半年期													
明治43年下半年期													
明治44年上半年期													
明治44年下半年期													
大正元年上半期													
大正元年下半期													
大正2年上半期													
大正2年下半年期													
大正3年上半年期													
大正3年下半年期													
大正4年上半年期													
大正4年下半年期													
大正5年上半年期													
大正5年下半年期													
大正6年上半年期													
大正6年下半年期													
大正7年上半年期													
大正7年下半年期													
大正8年上半年期													

表 2 飯田新七東店の当期純利益の推移 (単位: 円)

会計期間	当期純利益
第25期 (明治32年 3 月 1 日～明治32年 8 月31日)	19,518.653
第26期 (明治32年 9 月 1 日～明治33年 2 月28日)	-14,807.774
第27期 (明治33年 3 月 1 日～明治33年 8 月31日)	2,778.527
第28期 (明治33年 9 月 1 日～明治34年 2 月28日)	13,529.558
第29期 (明治34年 3 月 1 日～明治34年 8 月31日)	9,953.194
第30期 (明治34年 9 月 1 日～明治35年 2 月28日)	3,666.375
第31期 (明治35年 3 月 1 日～明治35年 8 月31日)	11,973.698
第32期 (明治35年 9 月 1 日～明治36年 2 月28日)	3,546.949
第33期 (明治36年 3 月 1 日～明治36年 8 月31日)	12,132.754
第34期 (明治36年 9 月 1 日～明治37年 2 月28日)	-4,992.806
第35期 (明治37年 8 月 1 日～明治37年 8 月31日)	-4,168.867
第36期 (明治38年 9 月 1 日～明治38年 2 月28日)	4,222.849
第37期 (明治38年 3 月 1 日～明治38年 8 月31日)	8,507.833
第38期 (明治38年 9 月 1 日～明治39年 2 月28日)	15,049.905
第39期 (明治39年 3 月 1 日～明治39年 8 月31日)	17,038.711
第40期 (明治39年 9 月 1 日～明治40年 2 月28日)	13,727.160
第41期 (明治40年 3 月 1 日～明治41年 2 月28日)	9,436.642
第42期 (明治41年 9 月 1 日～明治41年 8 月31日)	913.301
第43期 (明治41年 3 月 1 日～明治41年 8 月31日)	13,197.616
第44期 (明治41年 9 月 1 日～明治42年 2 月28日)	2,722.687
第45期 (明治42年 3 月 1 日～明治42年 8 月31日)	16,224.251
第46期 (明治42年 9 月 1 日～明治43年 2 月28日)	8,039.118
第47期 (明治43年 3 月 1 日～明治43年 8 月31日)	18,081.233
第48期 (明治43年 9 月 1 日～明治44年 2 月28日)	6,509.521
第49期 (明治44年 3 月 1 日～明治44年 8 月31日)	-1,035.040
第50期 (明治44年 9 月 1 日～明治45年 2 月28日)	-7,276.302
第51期 (大正元年 3 月 1 日～大正元年 8 月31日)	4,269.906
第52期 (大正元年 9 月 1 日～大正 2 年 2 月28日)	-2,374.345
第53期 (大正 2 年 3 月31日～大正 2 年 8 月31日)	2,334.714
第54期 (大正 2 年 9 月 1 日～大正 3 年 2 月28日)	95.096
第55期 (大正 3 年 3 月 1 日～大正 3 年 8 月31日)	5,816.326
第56期 (大正 3 年 9 月 1 日～大正 4 年 2 月28日)	-227.255
第57期 (大正 4 年 3 月 1 日～大正 4 年 8 月31日)	-4,195.252
第58期 (大正 4 年 9 月 1 日～大正 5 年 2 月28日)	-2,972.803
第59期 (大正 5 年 3 月 1 日～大正 5 年 8 月31日)	4,320.207

(出所)「飯田新七東店棚卸決算報告表」第25期から第38期,「飯田新七貿易店棚卸表」第39期から第44期,「高島屋飯田合名会社飯田貿易棚卸報告表」第45期から第59期より作成。

表3 飯田新七東店から東京店、大坂店、呉服店の売上高推移（単位：円）

	東京店	大坂店	呉服店
第32期	19,221.670		
第33期	16,313.380		
第34期	12,639.200		
第35期	—		
第36期	20,288.910		
第37期	17,947.370		
第38期	20,914.725		
第39期	25,364.225		
第40期	27,635.405		
第41期	18,335.315		
第42期	23,180.850		
第43期	25,254.635		
第44期	15,229.650		
第45期	15,062.510		
第46期	18,229.690		
第47期	23,018.630		2,647.040
第48期	10,091.740	880.710	2,542.130
第49期	17,435.175	1,254.380	2,144.230
第50期	8,247.780	1,795.870	2,442.380
第51期	11,764.950	6,360.800	1,891.135
第52期	13,000.090	1,711.530	2,705.240
第53期	20,050.570	2,280.230	900.790
第54期		1,007.510	874.510
第55期		1,948.240	1,190.500
第56期		3,839.960	2,523.200
第57期		2,600.760	1,828.620
第58期		4,355.540	5,181.360
第59期		2,399.170	2,104.220

(出所) 「飯田新七棚卸表」第32期から第38期,
「飯田新七飯田貿易店棚卸表」第39期から第44期,
「高島屋飯田合名会社飯田貿易店棚卸報告表」第45期から第59期,
『高島屋営業史補遺資料』より作成。

表4 飯田新七東店から大坂店への売上品目(単位:円)

	原価	売価	利益
四折屏風	41.980	53.580	11.600
小屏風	10.900	18.750	7.850
衝立	13.600	35.000	21.400
額面	74.050	121.000	46.950
假帳	102.900	118.330	15.430
卓子掛	22.200	33.750	11.550
枕掛	24.710	44.620	19.910
天壁掛	368.300	525.500	157.200
天帛紗	228.160	297.920	69.760
羽二重	52.570	67.400	14.830
壁縮面	5.950	8.410	2.460
琥珀	132.790	191.790	59.000
皿敷	14.400	17.100	2.700
手巾	4.520	5.740	1.220
徽章絹	3,495.000	4,819.780	1,324.780
日傘	2.610	2.130	-0.480
合計	4,594.640	6,360.800	1,766.160

「高島屋飯田合名会社飯田貿易店棚卸報告表」第51期より作成。

表5 飯田新七東店から飯田呉服店への売上品目(単位:円)

	原価	売価	利益
羽二重類	356.210	447.325	91.115
壁縮緬類	425.580	567.030	141.450
琥珀朱子	244.450	300.950	56.500
綿天類	76.700	90.500	13.800
モスリン	75.600	81.000	5.400
小間物	6.420	7.050	0.630
スカーフ	197.770	253.640	55.870
枕掛クツション	27.300	47.300	20.000
ネクタイ	11.400	22.720	11.320
手巾類	2.700	3.610	0.910
日傘	1.500	2.250	0.750
皿敷センター	1.800	2.930	1.130
シホン、ウスギヌ	22.800	31.110	8.310
雑費	26.350	33.720	7.370
合計	1,476.580	1,891.135	414.555

(出所)「高島屋飯田合名会社飯田貿易店棚卸報告表」第51期より作成。

表6 飯田新七東店店員の推移（第25期から第59期）

第25期	外池常七, 浅井英太郎, 後藤忠次郎, 山中義三郎, 川本熊一郎, 古谷亀太郎, 和田久次郎, 竹澤精一, 坂部恭三, 鈴木政蔵, 木村三重郎, 三木貞次, 雑喉萬次郎, 奥木互一, 石原幸次郎, 山田丑太郎, 饗庭友七, 入江甚三郎, 竹内末次郎, 中西熊吉, 喜多村三木造, 高島精一, 北垣彦三, 秋葉政一, 中井貞之助, 近藤良, 本郷伊三郎, 大江基三, 竹澤勉三, 大石雄次, 服部司馬, 下田東一, 野垣収三, 上野壽, 田口道三, 太田有二, 今立恭二郎 店員総数37名
第26期	饗庭友七, 入江甚三郎, 竹内平二郎, 山中義之郎 (11月7日退店), 喜多村三木造 (11月7日退店), 河本熊一郎, 秋葉政市, 古谷亀太郎, 大江基三, 坂部恭三, 外池幸七, 浅井英太郎, 後藤忠次郎, 上野壽, 田口道三, 太田有二, 今立恭二郎, 中西熊吉, 高島精一, 北垣慶三, 近藤良 (11月18日退店), 鈴木政蔵, 三木貞次, 中井貞之助, 和田文二郎, 竹沢勉三, 竹沢精市, 大石雄次, 坂部司馬, 下田東市, 野垣収三, 木村三重郎, 雑喉萬次郎, 奥平吾平, 山田茂 (11月19日退店), 森田伝三郎, 藤田藤吉, 石原幸吉 店員総数38名
第27期	饗庭友七, 後藤忠次郎, 入江甚三郎, 河本熊一郎, 秋葉政市, 中井貞之助, 和田桑二郎, 外池常七, 浅井英太郎, 竹内平二郎, 上野壽, 田口道三 (4月18日より横浜出張), 太田有二 (4月18日より横浜出張), 今立恭二郎 (8月10日退店), 北垣慶三, 高島精一, 鈴木政蔵, 大江基三 (7月5日より横浜出張), 和田久二郎, 木下俊二 (4月9日入店, 4月17日横浜出張), 小島 (4月9日入店, 7月5日横浜出張), 浅野孝ノ助 (4月9日入店, 7月5日横浜出張), 西山種三郎 (4月11日入店), 中川幸三 (6月13日入店), 角新次 (7月2日入店), 竹沢勉三, 竹沢精市, 雑喉萬次郎, 坂部恭二郎, 服部司馬, 下田東市, 野垣収三, 森神栄二郎, 木村三重郎, 青木雪三 (6月1日入店), 奥平吾市, 石原幸吉, 田中帛太郎 (4月8日入店) 店員総数38名
第28期	河本熊一郎, 和田久次郎, 外池常七, 饗庭友七, 後藤忠次郎, 入江甚三郎, 竹内平次郎, 上野壽, 角新次, 北垣彦三, 秋葉政市, 鈴木政蔵, 中井貞之助, 西山種三郎, 竹沢勉三, 竹沢精市, 坂部恭二郎, 服部司馬, 野垣収三, 森神栄次郎, 木村三重郎, 青木雪造, 藤科桑次郎, 奥平吾市, 田中帛太郎, 戸田吉成 (11月1日入店), 浅井英太郎 (12月1日東京へ転勤), 中川幸蔵 (1月元締へ転勤), 雑喉萬次郎 (1月横浜へ転勤), 下田東市 (2月東京店へ転勤), 石原幸吉 (11月横浜へ転勤) 店員総数31名
第29期	外池常七, 饗庭友七, 後藤忠次郎, 上野壽, 入江甚三郎, 竹内平次郎, 山中義三郎 (3月16日帰店), 井出七郎 (5月6日より出勤), 北垣慶三, 河本熊一郎, 秋葉政市, 鈴木政三, 岡本万二郎, 中井貞之助, 和田久次郎, 西山種三郎, 竹沢精市, 坂部恭二郎, 服部司馬, 野垣収三, 藤科桑次郎, 木村三十郎, 青木雪三, 奥平吾市, 田中帛太郎, 戸田吉成, 高原次雄, 河内新一郎 (5月11日より出勤), 竹沢勉三, 森神栄次郎 店員総数30名
第30期	外池常七, 饗庭友七, 浅井英太郎 (10月14日東京店から転勤), 後藤忠次郎, 入江甚三郎, 山中義三郎, 井出七郎, 北垣慶三, 河本熊一郎, 秋葉政市, 中井貞之助, 和田久治郎, 竹沢精市, 坂部恭次郎, 服部司馬, 野垣収三, 藤科桑次郎, 木村三十郎, 青木行清, 奥平吾市, 田中栄次郎, 戸田吉成, 高原次雄, 栗津新一郎 (11月11日呉服店から転勤), 河内新一郎 店員総数25名
第31期	外池常七, 饗庭友七, 後藤忠次郎, 浅井英太郎, 入江甚三郎, 山中義三郎, 北垣慶三, 河本熊一郎, 秋葉政市, 中井貞之助, 和田久次郎, 竹沢精市, 坂部恭次郎, 服部司馬, 野垣収三, 青木雪三, 藤科桑次郎, 中村類三, 井出七郎, 木村市次郎, 高原次雄, 戸田吉成, 石原幸吉, 田中帛太郎, 栗津新一郎, 川田新一郎, 難波三穂次, 鈴木勝太郎, 大江基三 店員総数29名
第32期	記載なし
第33期	記載なし

第34期	記載なし
第35期	外池常七, 飯田源次郎, 浅井英太郎, 後藤忠次郎, 佐藤保, 井出七郎, 木村市次郎, 北垣慶三, 秋葉政市, 中井貞之助, 大江基三, 和田久次郎, 坂部恭次郎, 服部司馬, 青木行清, 藤科彥次郎, 戸田吉成, 中村藤次郎, 高原次雄, 石原幸吉, 難波三穂次, 粟津新一郎, 川田新一郎, 林吉次郎, 川村有吉, 西村徹 店員総数26名
第36期	外池常七, 飯田源次郎, 浅井英太郎, 後藤忠次郎 (以上二等), 佐藤保, 井出七郎, 木村市次郎, 北垣彦造, 秋葉政市, 中井貞之助, 大江基三, 和田久次郎, 坂部恭次郎, 服部司馬, 野垣収三, 藤科彥次郎, 戸田吉成, 高原次雄 (以上三等), 石原幸吉, 川田新一郎, 林吉次郎 (以上4等), 西村徹, 中井亀三郎 (以上5等員) 店員総数23名
第37期	外池常七, 飯田源次郎, 浅井英太郎, 後藤忠次郎 (以上2等), 佐藤保, 木村市次郎, 秋葉政市, 中井貞之助, 大江基三, 坂部恭次郎, 野垣収三, 戸田吉成, 高原次雄, 湯浅喜次郎 (4月9日入店), 井口源三郎 (4月12日入店), 瀬川総伊治 (5月16日入店), 岩田弘太郎 (5月17日入店), 渡邊治太郎 (5月27日入店) (以上3等), 川田新一郎, 林吉次郎, 谷口捨吉, 橘金次 (7月1日入店) 以上4等, 西村徹, 中井亀三郎, 戸田哲次郎, 岸薫, 宮本徳次郎 (8月10日入店) (以上5等), 今居亀三郎 (7月18日入店, 別席), 石原幸吉, 北垣彦三 (6月14日入営の為帰国) (以上別席3等) 総店員数30名
第38期	外池常七, 飯田源次郎, 浅井英太郎, 後藤忠二郎 (以上二等), 山中義三郎 (10月25日帰店), 木村市次郎, 佐藤保, 北垣彦造 (9月14日帰店), 秋葉政市, 中井貞之助, 大江基三, 坂部恭次郎, 野垣収三, 戸田吉成, 高原次雄, 湯浅喜次郎, 井口源三郎, 瀬川伊総治, 岩田弘太郎, 渡邊治太郎, 石原幸吉, 河田秋一郎, 林吉次郎, 谷口捨吉 (以上3等員), 橘金治, 西村徹 (以上4等), 中井亀三郎, 戸田哲次郎, 岸薫, 宮本徳次郎, 有田豊一 (12月1日入店), 中噌庸二郎 (12月3日入店), 笠城郁太郎 (2月20日入店) (以上5等員), 今居口之郎, 石川直造 (11月16日転勤) (以上別席), 鈴村安恵 (11月1日入店, 雇員) 総店員数36名
第39期	外池常七, 飯田源次郎, 浅井英太郎, 後藤忠次郎 (以上2等), 入江甚三郎 (3月20日帰店), 山中義三郎, 佐藤保, 木村市次郎, 北垣彦三, 秋葉政市, 石川直造, 金田栄太郎 (7月24日入店), 大江基三, 和田久次郎 (3月5日帰店), 坂部恭次郎, 野垣収三, 藤科彥次郎 (4月12日帰店), 戸田吉成, 高原次雄, 湯浅喜次郎, 井口源三郎, 瀬川伊総治, 岩田弘太郎, 渡邊治太郎, 石原幸吉, 川田新一郎, 林吉次郎, 谷口捨吉, 高木基吉 (4月2日入店), 松本栄光 (4月3日入店), 井口良香 (4月21日入店), 橘金治, 西村徹, 中井亀三郎 (以上4等), 戸田哲次郎, 岸薫, 宮本徳次郎, 有田豊一, 笠城郁太郎, 西岡篤太郎, 西山小平 (4月14日入店), 鶴見豊太郎 (5月9日入店), 鈴村安恵, 矢谷咲 (6月5日入店) 総店員数44名
第40期	外池常七, 飯田源次郎, 浅井英太郎, 後藤忠次郎, 入江甚三郎, 山中義三郎 (以上2等), 木村市次郎 (3等1級), 北垣彦三 (2等), 秋葉政市, 石川直造, 金田栄太郎, 大江基三, 和田久次郎, 坂部恭次郎, 野垣収三, 藤科彥次郎 (以上3等1級), 戸田吉成, 高原次雄, 井口源三郎, 瀬川伊総治, 岩田弘太郎, 渡邊治太郎, 石原幸吉, 川田新一郎, 湯浅喜次郎, 林吉次郎, 谷口捨吉, 高木基吉, 松本栄光, 西村徹, 橘金治, (以上3等2級), 中井亀三郎, 宮本徳次郎 (以上4等), 戸田哲次郎, 岸薫, 有田豊一, 笠城郁太郎, 西岡篤太郎, 鶴見豊太郎, 西山小平, (以上5等), 鈴村安恵, 矢谷咲 (以上雇員) 店員総数42名
第41期	外池常七, 飯田源次郎, 浅井英太郎, 入江甚三郎, 山中義三郎, (以上2等), 金田英太郎, 大江基三 (6月21日横浜より転勤), 野垣収三, 藤科彥次郎, (3等1級), 戸田吉成, 井口源三郎, 湯浅喜次郎, 林吉次郎, 谷口捨吉, 高木基吉, 松本栄光, 西村徹, 橘金治, 山本忍己 (4月20日入店), 中田友次郎, 濱定蔵 (4月22日入店), 坂根信介 (4月22日入店), 嶋田博 (6月1日入店) (以上3等2級), 中井亀之郎, 戸田哲次郎, 岸薫 (以上4等), 有田豊一, 西山小平 (7月22日園部より転勤), 鶴見豊太郎, 神供英太郎 (3月25日入店),

	黒川行貞（3月25日入店）、富田治三郎（4月19日入店）、小野保造（4月19日入店）、中路貞吉（4月19日入店）（以上5等）、鈴木安恵、矢谷咲、小倉君（以上雇員）総店員数37名
第42期	外池熊五郎、飯田源次郎（10月16日園部詰）、浅井英太郎、入江甚三郎、山中義三郎、金田栄太郎、大江基三、和田久次郎（2月15日横濱より転勤）、野垣収三、藤科彙次郎、黒川清（9月14日入店）、戸田吉成（12月10日金沢出張）、井口源次郎、石原幸吉（11月2日園部より転勤）、湯浅喜二郎、林吉次郎、谷口捨吉、松本栄光、西村徹、橘金次、山本忍己、中田友次郎、濱定蔵、坂根信介（2月5日園部詰）、中井亀三郎、宮本徳次郎（2月19日園部より転勤）、戸田哲次郎、岸薫、有田豊一、西山小平、鶴見豊次郎、神供英太郎、黒川行貞、富田治三郎、鈴木安恵、矢谷咲、小倉君 店員総数37名
第43期	外池常七、浅井英太郎、山中義三郎、大江基三、和田久次郎、野垣収三、藤科彙次郎、黒川清、戸田吉成、井口源次郎、岩田弘太郎、湯浅喜次郎、林吉次郎、谷口捨吉、西村徹、橘金次、中田友次郎、阪根信介、中井亀三郎、宮本徳次郎、岸薫、有田豊一、西山小平、鶴見豊太郎、馬場半次郎、神供栄太郎、富田治三郎、柴田鎌吉、松田武次郎、鈴木安恵、矢谷咲、小倉君、田中信、飯田源次郎（金沢出張）、石原幸吉（5月17日金沢出張）、吉田栄太郎（4月1日より7月26日園部出張）、戸田哲次郎（5月31日園部出張）、武蔵広次（園部出張） 店員総数38名
第44期	外池常七、浅井英太郎、山中義三郎、大江基三、和田久次郎、野垣収三、藤科彙二郎、黒川清、戸田吉成、井口源三郎、岩田弘太郎、湯浅喜二郎（11月14日金沢詰）、林吉次郎、西村徹、阪根信介、中井亀三郎、宮本徳二郎、岸薫（9月10日金沢より帰店）、有田豊一（12月16日金沢詰）、馬場半次郎、神供英太郎、富田治三郎、柴田鎌吉、松田武次郎、石原幸吉（12月5日金沢より帰店）、竹田治三郎（9月16日入店）、武藤広太郎（9月16日園田より帰店）、鈴木安恵、矢谷咲、小倉君 店員総数30名
第45期	外池常七、飯田源次郎（金沢出張）、浅井英太郎、山中義三郎、和田久次郎、坂部恭次郎（米田出張）、野垣収三、藤科彙次郎、黒川清、戸田吉成（8月6日より金沢出張）、吉田英太郎（園部出張）、新宮駿二（5月23日入店）、飯田新太郎（7月1日入店）、湯浅喜二郎（8月17日迄出張）、井口源三郎、岩田弘太郎、石原幸吉、林吉次郎、渡邊哲英（7月30日入店）、谷口捨吉、西村徹、宮本徳二郎、竹田治三郎、戸田哲二郎、澤村仁五郎、岸薫、有田豊一（金沢出張）、神供英太郎、馬場半次郎、武藤広治（園部出張）、柴田鎌吉、松田武二郎、小野保造、馬淵覚治（4月22日入店）、吉田富吉（4月22日入店）、鳥井直五郎（4月22日入店）、内取憲（6月16日入店）、鈴木安恵、矢谷咲、小倉君 総店員数40名
第46期	外池熊五郎、飯田源次郎、浅井英太郎、山中義三郎、和田久次郎、坂部恭三郎、野垣収三、藤科彙二郎、黒川清、戸田吉成、吉田栄太郎、新宮駿二、飯田新太郎、湯浅喜二郎、井口源三郎、岩田弘太郎、石原幸吉、林吉次郎、渡邊哲英、谷口捨吉、西村徹、宮本徳二郎、竹田治二郎、戸田哲二郎、澤村仁五郎、岸薫、有田基一、神供栄太郎、馬場半次郎、西山小平、武蔵慶二、柴田鎌吉、松田武三郎、小野保造、馬淵覚治、吉田富吉、鳥居直之郎、内取憲、鈴木安恵、矢谷咲、小倉君 総店員数41名
第47期	外池熊五郎、飯田源次郎（金沢出張詰）、浅井英太郎（日英博出張）、山中義三郎（6月1日より同21日迄金沢）、和田久次郎（以上2等）、野垣収三（7月12日より墨博出張）、藤科彙次郎（5月1日より23日迄金沢）、黒川清、新宮駿二、戸田吉成（金沢出張詰）、吉田英太郎（園田工場詰の処、7月15日より帰店）（以上3等1級）、湯浅喜次郎、井口源三郎、岩田弘太郎、石原幸吉、林吉次郎、谷口捨吉、渡邊哲英（昨年12月1日より本年3月1日迄金沢）、西村徹（神戸出張詰）、宮本徳次郎（8月6日より依願退店）（以上3等2級）、竹田治三郎、戸田哲次郎、澤村仁五郎、岸薫、松田豊一（金沢出張詰）、神供英太郎（以上3等3級）、馬場半次郎（3等3級待遇）、西山小平、小野保造、柴田鎌吉、武藤広治（園部工場詰の処、7月15日より帰店）、松田武三郎（以上4等1級）、吉田富吉、馬淵覚治（5等1級）、鳥居直五郎、大森一市（3月29日入店）、森内□三（4月14日入店）（5

	等2級), 鈴木安恵, 矢谷咲, 小倉君, 岡井絹 (3月1日入店), 生野あつ (4月1日入店), 福西杏枝 (4月1日入店) (以上雇員) 総店員数43名
第48期	浅井英太郎, 山中義三郎, 和田久次郎 (以上2等員), 野垣収三 (7月12日から1月9日まで墨博出張), 藤科彥次郎, 黒川清, 新宮駿二, 戸田吉成, 吉田栄太郎, 湯浅喜次郎, 井口源三郎, 岩田弘太郎 (以上3等1級), 林吉次郎, 谷口捨吉, 渡邊哲英, 西村徹 (以上3等2級), 竹田治三郎, 戸田哲次郎, 澤村仁五郎, 岸薫, 神供英太郎, 内藤篤造 (2月19日入店), 西山小平, 小野保造, 武蔵廣治 (11月2日より金沢出張詰) (以上3等3級), 松田武次郎, 柴田鐮吉 (以上4等1級), 吉田富吉 (4等2級), 馬淵覺治 (5等2級), 鳥居直五郎, 大森一市, 中尾敬次郎 (10月25日入店) (以上5等2級), 鈴木安恵, 矢谷咲, 小倉君, 岡井絹, 生野あつ, 前川綾 (10月25日入店) 総店員数38名
第49期	外池熊五郎, 飯田源次郎, 山中義三郎 (6月18日より米国出張), 中西嘉助 (5月20日東京店より転勤), 和田久次郎 (以上2等員), 坂部恭次郎 (2月9日より伊博出張), 野垣収三, 藤科彥次郎, 黒川清, 戸田吉成, 吉田栄太郎, 湯浅喜次郎, 井口源三郎, 岩田弘太郎 (以上3等1級), 林吉次郎, 谷口捨吉, 渡邊哲英, 西村徹, 島海三郎 (4月1日入店), 竹田治三郎, 戸田哲次郎, 澤村仁五郎, 岸薫, 神供英太郎, 内藤篤造, 西山小平, 小野保造 (以上3等3級), 柴田鐮吉, 松田武次郎 (以上4等1級), 吉田富吉 (4等2級), 馬淵覺治 (5等1級), 鳥居直五郎, 大森一市, 中尾敬次郎, 篠田利三郎 (3月26日入店) (以上5等2級), 鈴木安恵, 矢谷咲, 神谷エイ (3月12日入店), 上村たつ子 (5月1日入店), 岩田シン (7月1日入店) (以上女店員) 総店員数40名
第50期	外池熊五郎, 飯田源次郎, 山中義三郎, 中西嘉助 (以上二等員), 和田久次郎, 野垣収三, 藤科彥次郎 (以上2等3級), 黒川清, 戸田吉成, 吉田栄太郎, 湯浅喜次郎, 井口源三郎, 岩田弘太郎 (以上3等1級), 林吉次郎, 谷口捨吉, 高木基吉 (2月10日支店より転勤), 渡邊哲英 (2月13日解雇), 西村徹, 島海三郎 (12月1日入店) (以上3等2級), 竹田治三郎, 戸田哲次郎, 澤村仁五郎, 岸薫 (12月入店), 神供栄太郎, 内藤篤造, 西山小平, 柴田鐮吉, 松田武三郎 (以上3等3級), 吉田富吉 (2月20日退店, 4等1級), 馬淵覺治 (4等2級), 鳥居直五郎, 大森一市 (以上5等1級), 中尾敬次郎, 篠田利三郎, 川田岩一郎 (11月2日入店) (以上5等2級), 鈴木安恵, 矢谷咲, 神谷エイ (11月1日退店), 上村田鶴, 岩田シン (以上女店員) 総店員数40名
第51期	外池熊五郎, 飯田源次郎 (以上2等1級), 山中義三郎, 中西嘉助 (以上2等2級), 和田久次郎, 野垣収三, 藤科彥次郎 (以上2等3級), 黒川清 (5月25日元締転勤), 戸田吉成, 吉田栄太郎, 湯浅喜二郎, 井口源三郎, 岩田弘太郎 (以上3等1級), 林吉次郎 (8月10日依願退店), 谷口捨吉, 高木基吉, 西村徹, 竹田治三郎 (以上3等1級), 片山仁五郎, 神供京太郎 (4月12日東京店転勤), 内藤篤造, 西山小平, 柴田鐮吉, 松田武三郎 (以上3等3級), 馬淵覺治 (4等1級), 鳥居直五郎, 大森一市 (以上4等2級), 中尾敬次郎, 篠田利三郎, 川田岩一郎, 馬場喜三郎 (以上5等2級), 鈴木安恵, 矢谷咲, 上村田鶴, 岩田シン (以上女店員) 総店員数35名
第52期	外池熊五郎, 飯田源次郎 (以上2等1級), 山中義三郎, 中西嘉助 (以上2等2級), 和田久次郎, 野垣収三, 藤科彥次郎 (以上2等3級), 戸田吉成, 吉田栄太郎, 湯浅喜次郎, 井口源三郎, 岩田弘太郎, 谷口捨吉, 高木基吉, 西村徹 (以上3等1級), 竹田治三郎 (3等2級), 片山仁五郎, 内藤篤造, 西山小平, 柴田鐮吉, 松田竹次郎 (以上3等3級), 馬淵覺治, 鳥居直五郎 (以上4等1級), 大森一市 (4等2級), 中尾敬次郎, 篠田利三郎, 川田岩一郎, 馬場喜三郎 (以上5等2級), 鈴木安恵, 矢谷咲, 上村田鶴, 岩田シン (以上女店員) 総店員数32名
第53期	外池熊五郎, 飯田源次郎 (以上2等1級), 山中義三郎, 中西嘉助 (以上2等2級), 和田久次郎, 野垣収三, 藤科彥次郎 (以上2等3級), 戸田吉成, 吉田栄太郎, 湯浅喜次郎, 井口源三郎, 岩田弘太郎, 谷口捨吉, 高木基吉, 西村徹 (以上3等1級), 竹田治三郎 (8月1日退店) (3等2級), 片山仁五郎, 内藤篤造, 西山小平 (4月29日退店), 松田

	武次郎, 馬淵覺治 (以上 3 等 3 級), 鳥居直五郎 (8 月 1 日退店), 大森一市 (以上 4 等 1 級), 篠田利三郎 (5 等 1 級), 川田岩一郎, 馬場喜三郎 (8 月 1 日退店), 三宅□三郎, 清水富造 (4 月 26 日入店), 武蔵篤太郎, 堀井貞三 (8 月 1 日入店), 鈴木機立 (8 月 1 日入店), 杉田甚之助 (8 月 1 日入店) (以上 5 等 2 級), 鈴木安恵, 矢谷咲, 上村田鶴, 永田ノブ (3 月 7 日入店) 総店員数 36 名
第 54 期	外池熊五郎, 飯田源次郎 (以上 2 等 1 級), 山中義三郎, 中西嘉助 (以上 2 等 2 級), 和田久次郎, 野垣収三, 藤科桑次郎 (以上 2 等 3 級), 戸田吉成, 吉田栄太郎, 高原次雄, 湯浅喜次郎, 井口源三郎, 岩田弘太郎, 谷口泰三, 高木基吉, 西村徹 (以上 3 等 1 級), 神供英太郎, 片山仁五郎, 内藤篤造, 松田武次郎, 馬淵覺治, 大森一市 (以上 3 等 3 級), 山本武夫, 篠田利三郎 (以上 4 等 2 級), 川田岩一郎, 武蔵篤太郎, 堀井貞三, 鈴木機立, 杉田甚之助, 福田隆三郎 (以上 5 等 2 級), 鈴木安恵, 矢谷咲, 上村田鶴, 永田信 (以上 女店員) 総店員数 34 名
第 55 期	外池熊五郎 (2 等 1 級), 中西嘉助 (2 等 2 級), 和田久三郎, 野垣収三 (以上 2 等 3 級), 戸田吉成, 吉田栄太郎, 高原次雄, 井口源三郎, 高木基吉, 西村徹 (以上 2 等 1 級), 神供英太郎 (3 等 2 級), 松田武三郎, 馬淵覺治, 大森一市 (以上 3 等 3 級), 山本武夫, 篠田利三郎 (以上 4 等 1 級), 武蔵篤太郎 (5 等 1 級), 堀井真三, 鈴木機立, 杉田甚五助, 福田隆三郎, 山本重一 (以上 5 等 2 級), 鈴木安恵, 矢谷咲, 上村田鶴, 永田信 総店員数 26 名
第 56 期	外池熊五郎 (2 等 1 級), 中西嘉助 (2 等 2 級), 和田久次郎, 野垣収三 (以上 2 等 3 級), 戸田吉成, 吉田栄太郎, 高原次雄, 井口源三郎, 高木基吉, 西村徹 (以上 3 等 1 級), 神供英太郎 (3 等 2 級), 柴田鎌吉, 松田武次郎, 馬淵覺治, 大森一市 (以上 3 等 3 級), 山本武夫, 篠田利三郎 (以上 4 等 1 級), 武蔵篤太郎 (5 等 1 級), 堀井貞三, 鈴木機立, 杉田甚五助 (以上 5 等 2 級), 鈴木安恵, 上村田鶴, 永田信, 松井小春 (以上 女店員) 総店員数 25 名
第 57 期	外池熊五郎 (2 等 1 級), 中西嘉助, 入江甚三郎 (以上 2 等 2 級), 和田久次郎 (2 等 3 級), 野垣収三 (3 等 3 級), 吉田栄太郎, 高原次雄, 井口源三郎, 高木基吉, 西村徹 (以上 3 等 1 級), 神供英太郎 (3 等 2 級), 松田武次郎 (3 等 3 級), 篠田利三郎 (4 等 1 級), 武蔵篤太郎 (5 等 1 級), 堀井貞三, 鈴木機立, 杉田甚之助, 渡邊栄造, 吉田信治 (以上 5 等 2 級), 鈴木安恵, 上村田鶴 (以上 女店員) 総店員数 21 名
第 58 期	中西嘉助, 入江甚三郎, 野垣収三, 和田久次郎, 吉田栄太郎, 高原次雄, 井口源三郎, 高木基吉, 西村徹, 神供英太郎, 松田武次郎, 篠田利三郎, 武蔵篤太郎, 堀井貞三, 鈴木機立, 杉田甚五助, 渡邊栄造, 吉田信次 (以上 5 等), 鈴木安恵, 上村田鶴, 山本キヌ (以上 女店員) 総店員数 21 名
第 59 期	山中義三郎, 入江甚三郎, 野垣収三 (以上 2 等 2 級), 和田久二郎 (2 等 3 級), 吉田栄太郎, 高原次雄, 井口源三郎, 高木基吉, 西村徹 (以上 3 等 1 級), 神供英太郎, 松田武次郎 (以上 3 等 2 級), 篠田利三郎 (3 等 3 級), 武蔵篤太郎, 堀井貞三, 杉田甚之助 (以上 4 等 2 級), 渡辺栄造, 高山雪次郎, 岡松正太郎, 熊井弘, 内藤政之助 (以上 5 等 2 級), 鈴木安恵, 上村田鶴, 山本キヌ (以上 女店員) 総店員数 23 名

「飯田新七棚卸報告表」第 25 期から第 38 期, 「飯田新七飯田貿易店棚卸表」第 39 期から第 44 期, 「高島屋飯田合名会社飯田貿易店棚卸報告表」第 45 期から第 59 期より作成。店員総数は, 名簿に掲載されている人数とした。